

1-1 多様な団体(自治会、老人会、婦人会)が参画している組織

こまなき

駒鳴集落を守る会 (伊万里市)

- 本地域は、伊万里市東部に位置し、水稻を中心に山間部では梨や肉用牛の畜産など伊万里市の特産品を生産している。
- 水利組合と連携を取って集落内の水路等の整備をしており、また老人会による花の植栽や子供会による清掃活動など各団体ごとに様々な活動をしている。
- 高齢化が進み今後の活動維持が懸念されるが、次世代の担い手を作る為に話し合いの場を設けるなど非農家の取込みに積極的に取り組んでいる。

【地区概要】

- ・取組面積 39.4 ha
(田:39.4 ha)
- ・資源量
開水路:8.5 km、パイプライン:5.7 km、
農道:5.6 km、ため池:6箇所
- ・主な構成員
農業者、非農業者、自治会、老人会、子供会他
- ・交付金 3,624,800円(H27)

農地維持支払及び資源向上支払(共同)1,891,200円
資源向上支払(長寿命化) 1,733,600円

活動開始前の状況、 取組を開始する経緯

- 農業者の高齢化や担い手不足により農家戸数の減少が著しく、年々農業用施設の維持管理が難しくなっていた。
- 施設の老朽化に伴い維持管理の負担金も増える為、そのまま手つかずになっているところがあった。
- 活動に取組むに当り、事務作業を誰が担うかなど問題や反対意見もあったが、リーダー的存在の人が主導で活動を始めた。
- 水利組合との連携でパイプライン(水管橋)を中心に整備を進めている。



主な取組内容

- 草刈り・泥上げ(4月・9月)
自治会を中心に行っている。
- 水管橋の補修(5月・11月)
各水利組合の役員を中心に活動。
- 施設の長寿命化の活動(11月頃)
役員と組織の若手で活動。
土木経験者の構成員がいるので、
アドバイスをもらいながら行っている。
- 景観形成(植栽)(5月・12月)
老人会が行っている。
- 清掃活動(クリーン作戦)(8月)
夏休みに子供会が行っている。

それぞれに活動のリーダーがおり、役割分担が明確である。



取組の効果や現状、 今後について

- 以前は公役で行っていた草刈り・泥上げも、農業用排水路・農道は農業者で、生活排水路・集落道路は地元自治会で役割分担をすることにより、非農業者の参加が増えた。
- 集落の4割が高齢者となり、活動維持を危惧している。そのため、集落の若い人が自由に意見を言える場として「駒鳴集落の未来を語ろう会」を立ち上げ、この中から次世代のリーダーを育成していこうと考えている。

